

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	当院で入院加療を要した急性薬物中毒患者についての検討
研究責任者 (所属科名)	石井 友美 (麻酔科)
本研究の目的・意義	救急診療において、高度意識障害の際は気管内挿管などの気道確保を検討する。急性薬物中毒患者の診療においては背景に精神疾患を有することも多く、初療時の意識レベル評価に難渋することがある。 今回、急性薬物中毒患者における挿管の適応、合併症等を後方視的に研究する。 今後の診療において、初療時点で挿管の要否判断に寄与すると考える。
調査方法・研究期間	後ろ向き観察研究 データ収集期間：2006年4月1日から2019年3月31日まで 研究期間：2021年3月末
該当資料・データ	上記期間に当科で急性薬物中毒のため入院加療を受けた患者さま 電子カルテに記載のある診療記録、検査結果、麻酔記録を利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の個人を特定できる情報を削除します。また、学会発表等で利用する場合も、個人を特定できる情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	麻酔科：石井 友美(内線 3168)
備考	